

能登復興推進室の機能移管について

2026年3月31日
北陸電力送配電株式会社

当社は、2026年4月1日付で、石川支社能登復興推進室の機能を石川支社七尾配電部に移管することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、令和6年能登半島地震で被害があった配電設備の復旧を迅速、強力に推進するため、2024年7月1日に能登復興推進室をのと里山空港内に設置し、復旧活動の拠点として配電設備被害の復旧を着実に進めてまいりました。

令和6年能登半島地震、奥能登豪雨であわせて約3,300本の電柱建替えが必要となりましたが、道路整備計画にあわせて復旧工事を進め、これまでに約2,200本の対応を終えたところです。

2026年以降は、自治体の復興計画にあわせた復旧工事を進めていくとともに、復興の進展に伴う電力の新設需要や橋梁修繕に伴う配電設備の移設工事の増加などに対応していく必要があります。これらの工事に迅速かつ適切に対応していくため、能登復興推進室の機能を4月1日付で石川支社七尾配電部へ移管し、同部、輪島配電センターおよび珠洲配電センターに能登復興推進担当を設置して、能登全体の復興を一体的に推進する体制とします。

能登復興推進担当は、能登地域における復旧計画の全体総括や震災復旧に関する工事計画等の業務を担い、引き続き、自治体と連携のうえ道路の整備状況にあわせて可能な限り早急に工事を進めてまいります。

北陸電力グループは、「こころをひとつに能登」のスローガンの下、引き続き、グループ一丸となって、能登をはじめとした被災地の一日も早い再建、復興の支援に取り組み、北陸地域の更なる発展に向け貢献してまいります。

以上

見直し後の組織概要

